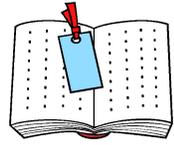


賃金改善や多忙化解消等のための要求署名



1062筆県教委へ提出

三観支部より
署名205筆

給与保障、教育環境整備、待遇改善を！ … 香教組

今後の改善に活かしていく。… 東条 課長補佐(義務教育課)



発行所
三豊教育会館内
三観支部
香教組三情宣部
編集人



○皆さんの声を県に届けます！
○パワハラ等の相談は香教組三観支部まで！

二〇二五年度香教組署名提出行動が二月二六日に天神前分庁舎（高松）で行われ、香教組の安藤康司委員長から東条課長補佐へ一〇六二筆（三観二〇五筆）の署名が提出されました。また、現場からの声も県教委へ届けました。香川県の教職員の皆さん、署名へのご協力ありがとうございました。



東条課長補佐へ署名を手渡す安藤康司副委員長

《参加者の要求》

本日はお時間をいただき、ありがとうございます。今年度は、4桁の署名を集めることができました。現場の切実な声として、項目に沿って要望をお伝えいたします。

① 賃金・待遇改善について

賃金の問題は、現場で最も関心が高い課題です。今年度は全ての職階でおおよそ一万円台の引き上げがありました。しかし、物価上昇の幅が大きく、実質的



要望する香教組代表

な生活改善には至っていません。特に中高年層では、子どもの大学進学費用や親の介護など、経済的負担が大きいく、生活に余裕があるとは言えない状況です。教職員の生活を保障することは、教育の質を守ることにつながります。生活にゆとりがあつてこそ、心のゆとりが生まれ、子どもたちが私たちへの教育に還元されます。また、教員は自主研修として書籍を自費で購入したり、研修会に参加したりと自己研鑽に努めています。こうした努力を支えるためにも、さらなる待遇改善を強く求めます。人事委員会勧告を踏まえ

つつも、県として粘り強く働きかけを行い、全ての教職員の処遇改善を実現していただきたいと考えています。

② 長時間勤務・人手不足の解消について

今年度は、かつてない人手不足の状況でした。5月1日時点で、小学校41名、中学校11名の欠員があつたと報告を受けています。

私の勤務校（高松市内小学校）では欠員こそありませんでしたが、特別支援学級で担任が不足し、再任用や短時間勤務の講師が学期間ごとに交代する状況でした。名目上担任はいるものの、実際には他の教員や管理職が補いながら、ぎりぎりで運営していました。担任が常時いる学級と、そうでない学級とは、教育条件の平等が保たれていないと言えません。どの子どもも等しく教育を受けるためには、教員の増員と業務削減が不可欠です。抜本的な人員配置の改善を強く求めます。

③ 義務教育等教員特別手当について
若い教員に義務教育等教員特別手当（義務特手当）を知っているか尋ねたところ、知らないという回答でした。この手当は70年代、教員人材確保のために創設されたものです。しかし現在、1.5%のうち0.5%を削減し、その財源を学級担任手当に充てるという動きがあり、ますます

もともと一律に支給して

いた手当を削減し、学級担任のみに充てるとするのは、本来の目的に反するのではないのでしょうか。学級担任以外には実質減額となり、不公平感が生じます。さらに、特別支援教育調整額についても、国は削減の方向で検討しています。普通学級の困難さを理由に特別支援の役割を相対化する動きは、特別支援教育に携わる教員への軽視につながりかねません。県からも国へ強く働きかけをお願いしたいと思っております。



④ 少人数学級の推進について

文部科学省の効果検証資料によると、学級規模が大きき場合、

- ・ 学力への負の影響
 - ・ 自尊心や社会性の低下
 - ・ 学校適応への悪影響
 - ・ 教員の業務時間増大
- などが指摘されています。これは、私たちが長年訴えてきたことと一致しています。

香川県では35人学級が進められています。小学校1年生では指示が通りにくい、学級経営が困難といった声が強くなります。私自身、小学3年生担任ですが、人数は少なめでも特別支援対象児童や支援を必要とする児童が複数在籍しており、学級運営は非常に困難です。

⑤ 特別支援教育の条件整備について

特別支援教育は教育の原点です。特別支援の子どもたちが落ち着いている学校ほど、学校全体の雰囲気安定しています。

しかし現場では、特別支援学級に正規教員が配置されず、講師対応となる例もありません。若手教員が特別支援を敬遠する傾向も見られます。

特別支援の子どもたちを大切にしたい学校こそ、地域から信頼される学校になります。

個別の指導計画・教育支援計画の質を高め、形だけでなく実効性のあるものにする必要があります。管理職のリーダーシップ、県教委の具体的な指導が求められます。

《県教委の回答》

賃金改善は人材確保の観点からも重要であり、国・県に働きかけを続ける。人手不足は大きな課題。組合の若手支援や離職防止の取り組みに感謝している。

中学校35人学級は県単独財源で継続予定。将来も見据えて検討していく。

小学校低学年の実情については今後の参考とする。

特別支援教育は当たり前のことを地道に進めることが重要。意識向上に努める。

香教組定期大会

(2月21日開催)



今年の定期大会では、三観支部から、議長を紀伊代議員、選挙管理委員長を黒河代議員が務めました。

《三観支部からの発言》

安心して働ける職場環境を

☆三観地区では今年度、管理職による排除的な学校運営およびパワーハラスメントについて、県・市教育委員会との交渉を重ねてきました。

具体的には、事前説明のない校務分掌の変更、人事に関わる情報が一部職員のみで伝えられる運営、特定の職員への過度な業務集中などがありました。また、意見を述べた職員が会議や情報共有の場から外されるなど、心理的に萎縮させる状況も生じています。

直接的な暴言がなくても、継続的な孤立化や圧力は明確な職場環境の悪化であり、看過できない問題です。

私たちは個人攻撃を目的としているではありません。しかし、声を上げた職員が不利益を受けない仕組み、透明性のある意思決定過程、公正な人事運営の確立を強く求めます。

安心して働ける職場環境を守ることは、子どもたちの教育を守ることにそのものです。今後も具体的な是正と再発防止策の実行を求

め、粘り強く取り組んでいきます。

憲法を活かそう残そう！

☆三観地区では校長によるパワハラがあり、市教育長に申し入れを行いました。西部教育事務所にも被害にあわれた教職員を守り、このようなことがないよう申

し入れをしました。セクハラ・パワハラは絶対にあつてはならないことで働きやすい職場作りのためにも欠かせません。今後も運動をすすめていくことを決意しています。

観音寺市は20年前に「非核平和都市」宣言をし、モニュメントを市役所内に設置しています。今、国会で憲法改悪を考

平和を守るために「ピースウォーク」を計画しました。詳しくは左のチラシをご覧ください。

憲法を 活かそう 残そう！

「ピースウォーク in 観音寺 5/3」

あなたの「平和」への思いをこめて、共に歩きませんか？

観音寺市は2006年3月24日に「非核平和都市」を宣言しており、唯一の核被爆国として核兵器廃絶と非核三原則の堅持を訴え、平和なまちづくりを推進しています。

三豊・観音寺九条の碑をつくる会は2025年5月3日に子どもたちを再び戦場に送らないという願いをこめて、観音寺市出作町に「憲法九条の碑」を建立しました。



観音寺市非核平和都市宣言のモニュメント 2006.3



観音寺市出作町の憲法九条の碑 2025.5

いい汗流そう！ みなさまの参加をお待ちしています

【参加費】 幼児・小学生・中学生・高校生は無料 それ以外の方は500円です。

【参加賞】 受付の時に茶(市役所)ゴールの時に菓子(三豊教育会館)

●ウォーキングコースと平和のつどいの日程

5月3日 ウォーキング(10時~11時)

① 観音寺市役所モニュメント付近で受け付け、出発式(準備運動)⇒三宅産業本社⇒明治橋⇒三豊教育会館

5月3日 平和のつどい(11時~12時)

② 南京玉すだれまたは手品、ビデオ鑑賞、平和教材の読み聞かせ(三豊教育会館)

主催/三豊・観音寺に9条の碑をつくる会 事務局:三豊教育会館(観音寺市出作町 866-1 高井)

共催:香教組三観支部 年金者組合三豊観音寺支部 医療生協南三豊観音寺支部

関係団体:9条の会三豊観音寺 新婦人観音寺支部

後援/観音寺市 観音寺市教育委員会

※参加希望者はご連絡下さい 事務局:電話:090-2789-6427 メール:kazuo-t@niji.or.jp

